

園内マップ

(→おすすめコース)



01 反射炉跡



鉄製大砲の鑄造のため、28代斉彬が築いた施設の跡です。斉彬たちは実物を見ず、オランダの書物を参考に苦心して建設しました。かつてはおよそ20mの高さの炉がそびえており、洋式工場群「集成館」の中核でした。

02 御殿



江戸時代は別邸として、明治からは一時本邸として使用された御殿。現存する御殿は明治17年(1884)に改築された建物が主体となり、藩主の部屋はすべて最高級の屋久杉で造られ、当時の雰囲気を感じていただけます。

03 尚古集成館



現在、島津家800年の歴史や文化を紹介する博物館・尚古集成館 本館として使用されている建物は、慶応元年(1865)に竣工した、現存する日本最古の石造洋式機械工場「旧集成館機械工場」です。

04 薩摩切子工場



吹きガラスからカット・磨きまで、すべての工程を見学できます。美しい薩摩切子と職人の高度な技術をご体感ください。

見学時間 | 9:00-16:30 | 休憩時間 | 10:00-10:15, 12:00-13:00, 15:00-15:15 | 定休日 | 月曜、第3日曜(祝日の場合は翌日、翌日曜日)

09 正門



明治28年(1895)、29代忠義が建てさせた正門です。建材は樟が使用されています。門の上部中ほどに島津家の家紋・丸十紋が、その左右には同じく島津家の家紋である桐紋が彫られています。

11 錫門



この門は屋根を錫で葺いていることからその名があります。錫は薩摩の特産品です。江戸時代は、藩主とその世子(嫡男)だけが通ることを許された正門でした。

G 島津薩摩切子ギャラリーショップ 磯工芸館



切子工場に隣接する、島津薩摩切子の直売店。国登録有形文化財の洋館をショップに利用しており、そのレトロな雰囲気も一見の価値あります。薩摩切子の他、地元作家の作品を多数取り揃えております。

14 鶴灯籠



安政4年(1857)、28代斉彬は鶴灯籠を用いてガス灯の実験を行いました。この後、城下町をガス灯で灯す計画を立てますが、志半ばで急死。豊かな国づくりを目指した斉彬の想いを象徴するものです。

- トイレ
- 車椅子対応トイレ
- 授乳室
- 待合室
- コインロッカー
- レストラン
- ショップ
- カフェ
- 自動販売機
- 駐車場
- 団体バス駐留所
- 周遊バス乗り場
- タクシー乗り場
- 救護室
- 喫煙所
- 免税カウンター
- 自動体外式除細動器
- 撮影ポイント
- 通行不可
- 階段
申し訳ございませんが、車椅子では通行できません。